

天慈観音てんじ

開眼法要のお知らせ

9月18日「日」

午前10時より慶福寺境内にて



ガラスの奉銘板

※写真は完成予定図です。

南大阪霊園全体をお護りくださる天慈観音様

観音様の御名前は、天野山の「天」と慈悲の「慈」、この二つに由来しています。御石は、世界に誇る名石「あじし庵治石」。冠部分まで含めると、なんと2メートルを優に超えます。思わず息を飲むほどの存在感。尊厳と品格に満ちた美しさです。



天慈観音様の右手のひらには「観音菩薩」を意味する梵字が浮き出ています。

あじし「庵治石」とは

庵治石は、独特の美しい斑模様が特長で、年月を重ねるほどに艶と輝きが増すと評されています。その美しさは世界中から賞賛を受け、花崗岩のダイヤモンドと呼ばれるほど価値ある石です。

観音様の両隣にガラスの奉銘板「天慈の絆」を建立



観音様のお傍には、ご先祖様や皆様のお名前を刻銘できるガラス（ガラス）の奉銘板があります。刻銘いただくことで、天慈観音様のご慈悲、ご加護を末永く授けられることでしょう。※詳しくは別紙をご確認ください。

観音様のお傍には永代供養墓も建立予定です

構想から5年一。皆様の想いでもありました、天慈観音様の建立が実現しました



わずか3%の奇跡

観音様の御石は、香川県高松市庵治町の丁場（採掘場）より産出された庵治石。天然の石なので斑模様にバラツキがあり、実際に使用できるのは採掘した石の内、わずか3%ほどです。

1年半かけて出会った理想の原石

石工の熟練の技で状態を見極め、稀少な原石を掘り当てます。観音様の大きさに必要な理想の原石と出会えたのは、まさに「奇跡」と言う他ありません。



熟練の技で仕上げ

原石を、観音様の大きさに合わせて切削。大きな原石から、一体の観音像を継ぎ目なく創り上げるのは至難の業。伝統工芸士でもある石工の熟練された技術あってこそです。

ぜひ、皆様お揃いでご参拝ください。